

SMFGの環境データ

三井住友フィナンシャルグループは、環境活動の更なる推進を図るために、その活動の「見える化」に取り組んでいます。

自社における環境活動の「見える化」の一環として、自社のオフィス活動による環境負荷データの開示と、昨年度から開示を開始した、三井住友銀行における「環境会計」および「環境ビジネスを通じた環境効果」を算出しています。

⇒ P.17 (1) 環境会計

⇒ P.18 (2) 環境ビジネスを通じた環境効果

⇒ WEB (3) 各社の環境負荷データ <http://www.smfg.co.jp/responsibility/environment/reduction/data02.html>

当社グループはその使用エネルギーのほとんどを電力に依存していることから、オフィスの空調・照明やOA機器等システムの利用に伴う電力使用量の削減を中心に取り組みを行っています。

2013年度も節電の取り組みの継続や高効率照明設備を導入するなどの取り組みを実施してまいりましたが、例年対比、夏季平均気温が高めであったこと等を要因に、電力使用量は約1%増となりました。

一方、主要グループ6社の掲げた環境目標については、2013年度ほぼ達成^{*}いたしました。今後も、グループ全体でのエネルギー使用量の削減を推進すべく、環境負荷軽減の取り組みを行ってまいります。

※ 主要グループ6社の環境目標と実績 ⇒ P.12

● SMFG合計

計測項目		SMFG合計				
		単位	2011年度	2012年度	2013年度	前年比
CO ₂ 排出量合計値	直接的エネルギーCO ₂ 排出量	t-CO ₂	6,529	6,277	6,217	-60 (-1.0%)
	間接的エネルギーCO ₂ 排出量	t-CO ₂ (実排出係数)	122,489	153,667	179,615	25,948 (16.9%)
	小計	t-CO ₂	129,017	159,944	185,832	25,888 (16.2%)
	その他エネルギーCO ₂ 排出量	t-CO ₂	16,632	18,568	19,501	933 (5.0%)
	CO ₂ 排出量 合計	t-CO ₂ (実排出係数)	145,650	178,512	205,333	26,820 (15.0%)

【参考】各社電力使用量合計

間接的エネルギー消費	電力	千kWh	327,677	322,671	325,911	3,240 (1.0%)
------------	----	------	---------	---------	---------	--------------

SMFGの環境データ

(1) 環境会計

三井住友銀行における、省エネ効果の高い照明や空調設備の導入費用を中心とした環境保全コストおよびそのエネルギー使用量等への環境保全効果を記載しています。

① 環境保全コスト

(単位：百万円)

分類		主な取り組みの内容	2011年度	2012年度	2013年度	前年度比 ^{※1}
(1) 事業エリア内コスト		—	3,223	3,537	2,409	-1,129
内訳	(1)-1 公害防止コスト	アスベスト調査および除去 PCB保管、搬出、処理	40	127	107	-20
	(1)-2 地球環境保全コスト	省エネ型空調機/照明器具等の 導入・老朽化更新等コスト	3,154	3,381	2,274	-1,107
	(1)-3 資源循環コスト	一般・産業廃棄物の処理費用 ^{※3}	29	29	28	-2
(2) 上・下流コスト		—	—	—	—	—
(3) 管理活動コスト		環境マネジメントの整備・運用、 環境情報の開示等	24	28	15	-13
(4) 研究開発コスト		—	—	—	—	—
(5) 社会活動コスト		環境保護関連の寄付金等	85	91	56	-35
(6) 環境損傷対応コスト		—	—	—	—	—
合計値			3,332	3,656	2,479	-1,177

② 環境保全効果

計測項目		単位	2011年度	2012年度	2013年度	前年度比 ^{※2}
直接的 エネルギーの 利用	都市ガス	千m ³	2,057	2,022	2,011	-11
	液化石油ガス(LPG)	t	12	12	11	-1
	重油	kl	4	5	5	0
	軽油	kl	3	3	3	0
	灯油	kl	12	6	6	0
間接的 エネルギーの 利用	電力	千kWh	160,765	159,576	159,120	-457
	蒸気	GJ	37,201	35,206	36,337	1,131
	温水	GJ	394	1,010	1,324	313
	冷水	GJ	13,991	13,632	13,355	-276
その他 エネルギーの 利用等	上下水合計	千m ³	2,431	2,329	2,512	183
	ガソリン(営業車等)	Kl	2,523	2,530	2,473	-57
	出張に係るCO ₂ 排出量	t-CO ₂	5,920	6,598	7,795	1,198

※1 (2013年度) - (2012年度)の値。マイナスの場合、コストの削減を表しています。

※2 (2013年度) - (2012年度)の値。マイナスの場合、利用量の削減を表しています。

いずれも、三井住友銀行における、コストおよび保全効果を表しています。

※3 対象は4本部ビル(本店、本店北館、大阪本部、神戸本部)

SMFGの環境データ

(2) 環境ビジネスを通じた環境効果

三井住友銀行では、数多くの再生可能エネルギーによる発電事業を対象としたプロジェクトファイナンスに取り組んでいます。

再生可能エネルギーは原則CO₂を排出しないことから、発電した分だけ、従来の発電設備で他のエネルギーの使用に伴い排出されていたCO₂を削減したとみなすことができます。それらの案件を支援することでCO₂の削減に寄与し、環境負荷削減効果をもたらしています。

以下では、2013年度に取り組んだプロジェクトファイナンスのうち、海外の再生可能エネルギー案件による年間のCO₂削減量を示しています。CO₂削減量は、再生可能エネルギーの種類および、それぞれの国ごとの対象設備の発電容量や設備利用率等をもとに年間推定発電量を算定し、その値に各国の電力排出係数を乗じることで算出しています。なお、算出に当たって、プロジェクトの総事業費のうち三井住友銀行の融資額が占める割合(融資シェア)は考慮していません。

種類	国別	設備容量 (MW)	年間推定発電量 (MWh)	年間CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)
風力発電	アメリカ	162.0	283,824	144,231
	カナダ	409.5	717,444	119,980
	オーストラリア	111.0	194,472	165,871
	イギリス	670.0	1,173,840	527,642
太陽光発電	アメリカ	979.0	1,029,125	522,970
	フランス	56.0	58,867	5,289
水力発電	ペルー	406.0	1,600,452	378,197
	アメリカ	356.0	1,403,352	713,141
廃棄物処理*	イギリス	83.0	538,866	210,000
合計		3,232.5	7,000,242	2,787,322

※上記のほか、イギリス、フランスにおいて廃棄物発電事業(設備容量38MW、年間推定発電量289,703MWh)への融資を実施し、資源の有効利用に貢献しています。

設備容量＝融資対象事業の合計(総出力)

年間推定発電量＝設備容量×年間時間×設備利用率

年間CO₂削減量＝年間推定発電量×電力の排出係数

(なお、算出に当たって、融資シェアは考慮せず)

出所：設備利用率は内閣官房 エネルギー・環境会議「コスト等検証委員会」報告書、
排出係数はGHG Protocol公表の各国排出係数に基づく。